The Process Professional Portfolio

The Future in Process Management

3 日間のコース

CMMI®–SVC基礎コース

サービスのための能力成熟度モデル統合CMMI®-SVCとは何か？ビジネスに効果的に適用するにはどうしたらよいか？

このコースを受講すると、下記の能力を身につけることが出来ます。

- **CMMI®-SVCの段階表現、連続表現の構造と内容の理解**
- **組織のサービス管理プロセスとCMMI®-SVCとの関連付け**
- **組織内で、CMMI®-SVCの利点を活用**
- **サービスプロセス改善プログラムの計画立案**

コースの目的

このコースでは、次のことを学びます:
- プロセス、能力成熟度などの用語
- CMMI®–SVCの24のプロセス領域について
- CMMI®–SVCの段階表現と連続表現を理解する。
- CMMI®–SVCを活用したソフトウェアプロセス改善活動
- CMMI®–SVCの固有プラクティスと共通プラクティス
- CMMI®–SVCの構造と利用法

コースの成果

コースに参加すると下記の事ができるようになります:
- CMMI®–SVCを使用してプロセス改善を行うとどのような利益が得られるか確認できる。
- 所属する組織で、CMMI®–SVCをどのように活用したらよいか確認できる。
- 所属する組織で、サービスプロセス改善プログラムをまとめる。

コースの形式

十分に理解していただくために、プレゼンテーションと演習を交互にはさみながら行います。
コース教材として、コースノート、モデルテクニカルレポート、演習教材、その他追加資料を使用します。

対象者

- CMMI®–SVCの組織的な利益を理解することが必要なマネージャの方
- 所属する組織でCMMI®–SVCを適用するために、CMMI®–SVCを理解する必要がある担当者
- CMMI®–SVCを適用した、アセスメントを行う担当者
- このコースの修了、又は、同等な知識は、PPA手法によるアセッサコース参加の前提条件になります。

コースの内容

背景
- CMM®とCMMI® の歴史と背景
- 基本的な用語の説明
- 未熟な組織と成熟した組織
- プロセス改善のサイクル
- プロセス改善の効果

連続表現
- 能力レベル 0～3
- プロセス領域とカテゴリ
- 共通ゴールと共通プラクティス
- 留意点

段階表現
- 成熟度レベル
- 各成熟度レベル対プロセス領域
- プロセス領域の構造
- レベルの向上
- レベル2、3、4、5のプロセス領域の内容
- プロセス領域の解釈
- レベル内及びレベル間のプロセス領域の関係
- プロセス領域の組織成熟度への寄与

まとめ
- 成熟度でプロセスはどのように変わるか。
- 異なる成熟度レベルにおいて組織要員の行動はどうなるか。
- 組織の成熟度において新しい技術がどのように展開されるか。
- 各成熟度レベルを通じた測定の必要性について

CMMI®–SVCの適用
- 改善のためにCMMI®–SVCを利用
- 段階表現対連続表現
- CMMI®–SVCをどのように適用するか
- CMMI®–SVCの強みと弱み

®能力成熟度モデルCMM 、CMMIは、カーネギーメロン大学によって、米国特許商標庁登録されています

© Compita Japan, 2017